

イスラーム映画祭2

日々うねりを上げる世界情勢の中で、ますます関心を集める“イスラーム”。

映画は、わたしたちがあふれる情報にまぎれて見落としがちで、その文化とともに生きる人々の素朴な姿を垣間見せてくれます。

映画を楽しみながら、世界の豊かさを知るために、第2回目の「イスラーム映画祭」を開催いたします。

TIMETABLE 上映時間が異なりますのでご注意ください。

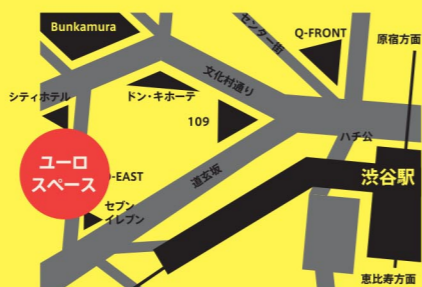
14 SAT	13:00 私たちはどこに行くの？	15:15 トークセッション:1 敷物と掛布	18:30 トークセッション:2 バーバ・アジーズ
15 SUN	13:00 トークセッション:3 泥の鳥	15:40 十四夜の月	18:50 ミスター & ミセス・アイヤル
16 MON	13:00 敷物と掛布	15:00 改宗	17:00 蝶と花
17 TUE	13:00 トークセッション:4 十四夜の月	16:45 ミスター & ミセス・アイヤル	19:10 泥の鳥
18 WED	13:00 マリアの息子	14:40 私たちはどこに行くの？	16:50 改宗
19 THU	13:00 ミスター & ミセス・アイヤル	16:00 泥の鳥	18:30 トークセッション:5 バーバ・アジーズ
20 FRI	13:00 蝶と花	15:30 マリアの息子	17:10 敷物と掛布

TALK SESSION

- トークセッション:1 エジプトの若者が見た「2011年1月25日」～アラブの春～
ゲスト: アハマド・カリーム 「敷物と掛布」翻訳 / 東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士課程 14 (sat) 『敷物と掛布』上映後
- トークセッション:2 実在するスーフィー音楽祭を訪ねて
ゲスト: サラーム海上 よろずエキゾ風物ライター/DJ / 中東料理研究家 14 (sat) 『バーバ・アジーズ』上映後
- トークセッション:3 パウルの歌を探しに
ゲスト: 川内有緒 ノンフィクション作家 著書『パリでメシを食う』『パウルの歌を探しに』バングラデシュの喧嘩に紛れ込んだ彷徨の記録。ほか 15 (sun) 『泥の鳥』上映後
- トークセッション:4 “君は比類なきほど美しい” ～ワヒーダー・ラフマーンとグル・ダット～
ゲスト: 麻田豊 元東京外国語大学准教授(ウルドゥー語学文学、インド・イスラーム文化) / 翻訳家 17 (tue) 『十四夜の月』上映後
- トークセッション:5 女ひとり、イスラム旅
ゲスト: 常見藤代 写真家 著書『女ノマド、一人砂漠に生きる』『女ひとり、イスラム旅』ほか 19 (thu) 『バーバ・アジーズ』上映後

TICKET/ACCESS

- 一般 1300円 火曜サービスデー 1200円
3回券 3300円 ※複数人での利用可
会員・シニア 1100円
大学・専門学校生 1100円
高校生 800円 中学生以下 500円
前売券の販売はございません



EUROSPACE
住所 東京都渋谷区円山町1-5
電話 03-3461-0211
URL www.eurospace.co.jp

■注意事項 時間は上映開始時刻です。各回入替制、全席自由席で、上映開始10分前より整理番号順でのご入場となります。整理番号付チケットは、午前10時より当日全回分を販売いたします。満席の場合、ご入場いただけないこともございますので、お早めにご来場ください。上映作品が予告なく変更となる場合がございます。また、トークイベントも変更、中止となる場合がございます。上映素材によっては映像や音声に不具合のある場合もございます。

フートナ中東/インタービューン/Office O / 国際交流協会 / シーハウス / 中東映画研究会 / 東京国立近代美術館フィルムセンター / 日本エッセイスト・クラブ協会 / 山形国際ドキュメンタリー映画祭 / Ahmad Abdalla / International Film Festival / Ahmad Abdalla / Feeshah Taepour / Five Star Production / Gala Global Inc. / Global Screen / mka / Pathe / Shoman Productions / Triplecom Media Pvt.Ltd.



islamicf.com



LEBANON



『私たちはどこに行くの?』

監督：ナディーン・ラバキ 2011年 102分 ブルーレイ
製作国：フランス=レバノン=エジプト=イタリア

戦争で荒廃した、ムスリムとクリスチャンが半数ずつ暮らすレバノンの小村。女たちは共に仲良くしていたが、男たちは事あるごとに争いを始め手に負えない。平穏な生活を守ろうと、女たちはあの手この手と策を練る…。

【解説】『キャラメル』の監督が贈る、男たちの争いを止めようと女性たちが共闘する歌や音楽満載の悲喜劇です。中東=イスラーム一色というイメージと異なるレバノンならではの作品で、他のアラブ諸国でも大ヒットしました。

EGYPT



『敷物と掛布』

監督：アフマド・アブダッラー
製作国：エジプト 2013年 87分 ブルーレイ

2011年1月25日、革命下のエジプト。30年におよぶムバラク政権打倒を叫ぶ人々で、街はあふれていた。友人と共に刑務所から逃亡した名もなき男は、真実を映すある動画を胸にカイロの貧困地区を彷徨うが…。

【解説】エジプト社会の周縁から革命を描く人間ドラマです。クルアーン詠みが即興で唄う民謡やアラブ歌謡が効果的に使われ、『敷物と掛布』とは一つの音楽ジャンルを表します。緊張と詩情がない交ぜとなった美しい映像詩です。

BANGLADESH



『泥の鳥』

監督：タレク・マストッド 2002年 95分 ブルーレイ
製作国：バングラデシュ=フランス

親元を離れ、アヌはマドラサに入学するが、厳しい寄宿生活になかなかなじむことができない。一方、家では病弱な妹の治療をめぐり、両親の間で溝が深まっていた。やがて彼らの村にも独立戦争の波が押し寄せてくる…。

【解説】バングラデシュ独立戦争前夜を背景にした、ある家族の物語です。暗い時代の中でも子供たちの姿が叙情味豊かに描かれ、ベンガル地方に伝わる“バウル音楽”が心に深く響きます。カンヌ国際映画祭・批評家連盟賞受賞作です。

THAI



『蝶と花』

監督：ユッタナー・ムクダーサニット
製作国：タイ 1985年 127分 ブルーレイ

父、弟、妹と暮らすフージャンは、家計を助けようとアイスクリーム売り始めるが、家を留守にしたある晩、父が列車事故に遭ってしまふ。やがてフージャンは旅先で出逢った若者たちと、白米の密輸を始めるが…。

【解説】ムスリムが多いマレーシア国境付近を舞台に、貧しい一家を支える主人公が、闇仕事を通じて成長する姿をみずみずしく描きます。緑豊かな自然や列車からの風景も目に沁みる、タイ映画の名作と謳われる青春ドラマです。

イスラーム映画祭2

渋谷1-08スペース 1.14SAT-1.20FRI

ムスリム女性、ファッション名称の違い

What Is The Hijab?



Hijab

ヒジャーブ

頭を覆うヴェールやスカーフ。髪を隠して顔ははっきりと出す。



Al-Amira

アル・アミーラ

フィットしたキャップと筒状のスカーフで構成される2ピースのヴェール。



Shayla

シャイラ

湾岸地域でポピュラーな長方形のスカーフ。肩のあたりで巻きピンで留める。



Khimar

ヒマル

膝まで届くヴェール。あごの下の部分が縫いつけられ髪と首をすっぽり覆うが顔は出す。



Chador

チャドル

イラン人女性の全身を覆うマント状の布。



Niqab

ニカーブ

顔を覆うヴェール。数枚重ねになっており目の部分を隠すこともできる。



Burqa

ブルカ

全身を覆う一体型のヴェール。目の部分はメッシュ状になっている。

これらはいくまで一例であり、スカーフやヴェールには無数のバリエーションがあります。また、西洋服で髪を覆わないムスリム女性もたくさんいます。

THAI



『改宗』

監督：バーヌ・アーリー、コン・リッディー他
製作国：タイ 2008年 83分 ブルーレイ

バンコクで働く仏教徒のジューンは、タイ南部出身のムスリム、エイクとの結婚を機にイスラームに改宗する。生活に根づくイスラームの教えと慣習を学びながら、ジューンはやがてエイクと共に南部の島へ移住するが…。

【解説】結婚と改宗という二つの決断を果たした女性の、新たな人生を描くロード・ドキュメンタリーです。彼女の迷いや喜びから結婚とは何かについても考えさせられ、やがてぎこちなくも素朴な夫婦の愛の旅路が見えてきます。

TUNISIA



『バーバ・アジーズ』

監督：ナーセル・ヘミール 2004年 96分 35mm
製作国：チュニジア=ドイツ=フランス=イギリス

盲目のイスラーム修道僧とその孫娘が、30年に一度だけ開かれるという集会を目指し、砂漠を歩いている。修道僧は孫娘にある王子の物語を聞かせていた。様々な出逢いと別れを繰り返しながら、2人は旅をつづける…。

【解説】アラブからベルジャ、そして中央アジアを舞台に、“アラビアンナイト”さながらの世界が展開する幻想的な物語です。スーパー音楽のほか様々な民族音楽が修道僧と孫娘の旅路を彩り、時間の概念を忘れさせてくれます。 フィルム提供：国際交流基金

IRAN



『マリアの息子』

監督：ハミド・ジェベリ
製作国：イラン 1999年 72分 35mm

敬虔なムスリムの少年ラフマンは、村で唯一のカトリック教会にあるマリア像に、見知らぬ母の面影を見る。老神父と仲良くなったラフマンは、神父が事故で倒れると、盲目の友人と共に彼の弟を探す旅に出るのだった…。

【解説】幼い子供を主人公にした、懐かしいタイプのイラン映画です。ムスリムの少年とカトリックの神父の素朴な交流に心が洗われ、子供たちの世界には“境界”がないことを教えられます。小さくも大きな示唆に富んだ物語です。

東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

INDIA



『十四夜の月』

監督：M・サーディク
製作国：インド 1960年 170分 35mm

ある日、ナワブは街でニカーブから一瞬だけ顔を見せた女性に一目惚れする。彼女を忘れられない彼は縁談を断り、親友のアスラムが代わりに結婚するが、なんとその相手こそ、ナワブが恋われる女性ジャミーラだった…。

【解説】インド映画の巨匠グル・ダット主演の悲恋メロドラマです。イスラーム文化花咲くラクナウを舞台に、すれ違いから始まる三角関係の行方を歌や踊りも満載に描きます。ヒロインの美しさを讃える歌も当時大ヒットしました。 フィルム提供：国際交流基金

INDIA



『ミスター&ミセス・アイヤル』

監督：アバルナ・セン 2002年 118分 ブルーレイ
製作国：インド

タミルのヒンドゥー女性ミーヌは、夫の元に帰るバスの旅でベンガル出身のラジャと出逢う。ところが道中、ヒンドゥー対イスラームの暴動に遭い、暴徒の前に彼女は、ムスリムと知ったラジャのことを夫だと嘘をつく…。

【解説】宗教も出自も異なる男女が束の間の夫婦を装う物語です。危険な道行きの中で、いつしか惹かれあう2人の姿に宗教融和への祈りが込められています。深刻な題材を描きつつも胸をしめつける、切ないラブストーリーです。